

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年10月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吹田市	代表者名	後藤 圭二
担当者部署	行政経営部	連絡先電話番号	06-6384-1443
担当者役職		担当者氏名	
住所	564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実際にオープンデータ公開に向けてのアプローチの仕方を助言いただくことができました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月10日	13時30分	15時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	吹田市役所本庁舎		最寄駅	阪急吹田、JR吹田
	所在地	大阪府吹田市泉町1丁目3番40号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	オープンデータ推進担当部署(情報政策室、広報課、市民総務室)の職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータ化の課題:公開データの選定や、公開に伴う業務負担や公開リスクの懸念。現場のオープンデータ化推進に対する意識。 オープンデータ公開後の課題:公開範囲の拡大と公開データの質の向上(データ形式のレベル向上)、オープンデータの利活用(データ分析)。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	昨年度、オープンデータ推進に関する指針を作成し、一部の情報をオープンデータとしてホームページでの公開を開始しました。今年度以降、更なるオープンデータの公開、データの質の向上を図るために、アドバイザー支援により、オープンデータの定義、目的や根拠等を職員一人一人が理解することを目指します。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	8月29日の講演により、受講者のオープンデータについての理解が広まりましたので、次のステップとして、どうオープンデータを推進していくべきかについて引き続き相談させていただき、他市事例を交えながら助言をいただきました。例えば、「とりあえずPDFであっても出していくべき」、「市として指針だけでなくガイドラインを作ってみてはどうか」、「公開しているものをより使いやすいデータにする」、「GISもオープンデータも公開しない理由を説明させる」等。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータの推進担当部署として、各担当者の悩みを直接投げかけることで、各人がそれぞれ次に何をすべきかの判断に大きな助けとなりました。吹田市では、各所管課の管理職員へのオープン化するという意識啓発をしつつ、公開済みデータをより使いやすくすることの検討等、多岐に渡って取り組むべきことが見えてきましたので、この流れを止めないようオープン化を推進していきたいと考えております。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 特にありません。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	推奨データのフォーマットをまとめるための具体的な手順や、データ分析を吹田市として取り組むべきかどうかの検討については、具体的な解決策は見えておりません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	市が保有する公共データは、市民共有の財産であるという認識のもと、個人情報などの一部の情報を除き、オープンデータとして公開することを目指し、オープンデータの公開ファイル数を2018年度と比較し、5年間で50%の上昇(毎年度10%の上昇)を目標としています。	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		